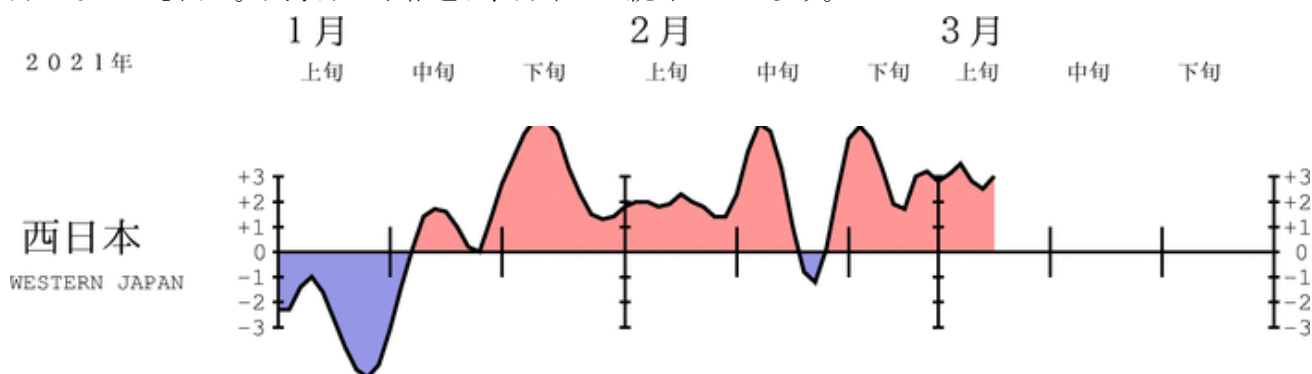


新型コロナ拡大に伴う「緊急事態宣言」は解かれたものの、終焉とは言えず、感染力の強いと言われる変異種が広がってきているようです。期待のワクチン接種も何時順番が回ってくるか不明の昨今、まだまだ気を抜くことはできませんね。今年は当初の厳しい冬になるとの予報が外れ暖かい日が続いています。お蔭で自然の歩みは早く、コロナフレイル対策の近所歩きも周りでは既に30種以上の花が開花し眼を楽しませてくれます。ウメに続き今はモクレン、ハクモクレン、コブシ、シデコブシの世界、こちらは一斉開花でそろい踏み、サクラの季節の前哨戦でしょうか。一方、サクラ・・ソメイヨシノについては皆さまから「今年は開花が早いのでは・・」との声が寄せられています。確かに、この附近でも花芽が大きく膨れ、先端からピンクの蕾が覗いているものも見られます。予報会社の予想は？また、ソメイヨシノ以外の桜の生き様など紹介しておきます。

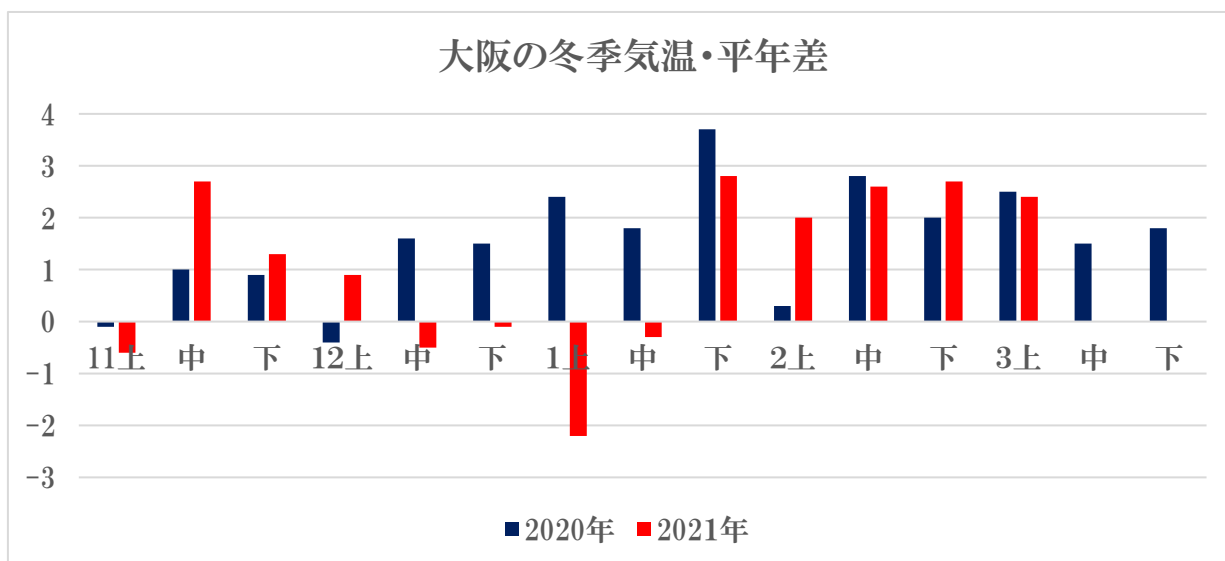
1. これまでの気温の経過

・この附近では1月中旬以降、平年に比べるとかなり気温の高い日が続いて来ています。この傾向は3月になっても同じ。気象庁の予報通り、月末まで続くのでしょうか。



・大阪の冬季気温の傾向

平年との差を記録的な暖冬と言われた昨年と比較して示しておく。2月下旬以降は昨年並みかむしろ高めに推移して来ていることが分かります。❀の開花にどのように影響してくるのでしょうか。



このような気温の経緯を踏まえて、プロである気象会社はどのように開花等を予想しているのでしょうか、最近修正を加え発表した2社の開花予報を転記しておきます。

2. 気象会社による今年の桜の開花予報。

2-1. ウェザオニュース社(2021年3月8日更新)

今年の桜は、平年よりかなり早い所が多いでしょう。最も早く咲くのは、九州北部となりそうです。前回3/4の予想と比べて、九州から東北で1日早くなっているところが多くなっています。

今年の冬は、たびたび非常に強い寒気が流れ込みましたが、冬の入り口である11月の気温がかなり高かったため、休眠打破は鈍めの所が多いとみられます。

2月は気温がかなり高くなりましたが、この先3月も高い状態が続く見込みです。このため休眠打破が鈍い影響よりも、2月3月の大幅な高温の影響が大きいので、開花は平年よりかなり早くなりそうです。

今年のソメイヨシノの開花は3月17日開花予想の福岡からスタート。18日(木)に東京、19日(金)に横浜、長崎が続き、全国的に開花が平年よりも早いところが多い予想です。3月末までに西・東日本の各地で開花し、4月上旬には東北南部で咲き始め、北海道でも4月下旬に桜前線が上陸すると見られる。

近畿地方では桜の開花時期は平年並か平年より早く、昨年並の開花となる予想。開花がスタートするのは3月21日(日)の和歌山からで、大阪、京都は3月23日(火)開花の見込み。その後、3月下旬にかけて北部まで開花エリアが広がっていく予想です。嵐山(京都府)では3月26日(金)に開花し、4月最初の週末となる4月2日(金)に満開を迎えると見られる。

2-2. 日本気象株式会社(3月4日第6回桜の開花・満開予想)

全国的に平年より早いかなり早い開花

東京、甲府、福岡、熊本で3月15日に開花前線がスタートし、3月下旬には東日本・西日本で続々と開花し始め、3月末には東北南部でも開花し始める予想

今シーズンは晩秋の高温の影響で全国的に休眠打破が遅れたものの、休眠打破後は平年よりかなり高めの気温で生長が大幅に早まるため、最終的には休眠打破の遅れを大きく取り戻す見込みです。全国的に平年より早いかなり早い開花となるでしょう。

前回の発表と比べて北日本では3月下旬の気温が高くなる予報に変わったため、開花予想日が1~3日程度早まっています。今シーズンは東京、甲府、福岡、熊本で3月15日に開花前線がスタートし、3月下旬には東日本・西日本で続々と開花し始め、3月末には東北南部でも開花し始める予想です。

[東日本・西日本]

10月は平年並み、11月は平年よりかなり高め、12月は平年並みか平年より低め、1月は平年並みか平年より高め、2月は平年よりかなり高めの気温でした。11月の高温の影響で休眠打破の時期は平年より数日から2週間程度遅れた見込みです。3月は平年よりかなり高めの気温が予想されています。

東日本・西日本では開花時期は、平年よりかなり早いでしょう

*近畿各地の開花日、満開日の予想

両社が発表した開花日及び満開日を次表にまとめておきます。

前回発表より早くなった日は青色、遅くなった日を赤色としました。

皆さまそれぞれの地域での開花・満開日の参考として下さい。

	日本気象株式会社		ウエザオニュース社		C f. 2021
	開花日	満開日	開花日	満開日	開花日
彦根	3/21	3/29	3/23	3/29	3/27
京都	3/17	3/26	3/18	3/26	3/22
大阪	3/20	3/27	3/20	3/28	3/23
奈良	3/18	3/26	3/19	3/26	3/26
和歌山	3/17	3/25	3/17	3/25	3/22
神戸	3/19	3/29	3/20	3/26	3/26

3. 附近のサクラの開花情報等

3-1. カワズザクラ

・前報では、近くの芦屋市・東山公園のカワズザクラの満開を伝えた。この公園は六甲山腹の開発を残し、東西120m、南北100mほどの斜面に遊歩道を設けた公園で、この遊歩道沿いに河津桜30本ほどを植栽している。写真のように、樹が若いので目立たないが、数年経てば土地の人の言うように早咲きザクラの名所となるかも。

・開花を伝えていた、もう一本の芦屋宮川沿いのカワズザクラは3月3日に満開と

なりました。同じ❀、右の写真のように昨年は同じ時期に葉桜となっていました。発祥の地、伊豆でも今年の開花は遅れたとのこと、多分、12~1月の寒冷な気候が影響したのでしょう。



3-2. シナミザクラ（支那実桜）の開花・満開

前報では、近くのシナミザクラが2月27日に開花したと伝えました。ところが、この桜、何と3月3日には満開となりました。正に、“3日見ぬ間の桜”、とはこのことでしょうか。一斉開花とは行かなくともこれに近い開花をする❀もあるのですね。もう1ヶ所の個体も全く同じです。

なお、シナミザクラの開花情報は他の方からも頂いています。



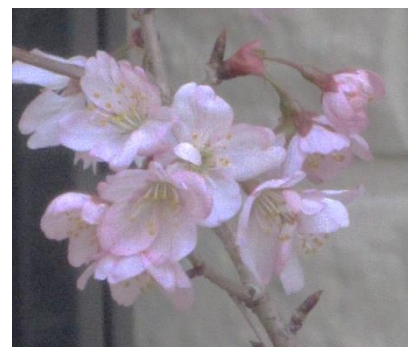
・この❀の開花は昨年は3月5日でした。今年は1週間ほど早いようです。

3-3 ケイオウザクラ（啓翁桜）

去年も咲いていたのですが、名知らずで報告にはなっていません。今年は品名をお教え頂いたので記録に止めます。まず「啓翁桜」とは・・・「名前の由来啓翁桜は、昭和5年、久留米市山本の良永啓太郎という人が中国系のミザクラを台木にし、ヒガンザクラの枝変わりとして誕生させました。名付け親は同じく久留米市の弥永太郎さんで、啓太郎の一字をとって啓翁桜と名付けました。いきおいよく成長する啓翁桜は、枝の伸びがよく、枝を切り込んでも弱らず切枝用に適しています。花の形や咲く時期などはヒガンザクラに似ています。啓翁桜はつぼみの花が開くと、うす紅色をしたボリューム感のある花が奇麗に咲きそろって、春の明るい華やかさを演出してくれます。とくに、枝がスプレー状になるので、

現代的なフラワーアレンジに、とても適しています。」ということで、切り花用、冷蔵庫や温室を利用して花期を調整、正月花～3月まで出荷

されるようです。私の近くでは3本ほど路地植えとなっています。花期が長い・・・。 3月3日の写真です。





同じ樹で、左は今年の2月27日の画像、右は昨年(2019年)の3月15日の画像です。この❀に關しても、開花が今年は早いようです。

3-4. 秋咲きサクラ2種の今

・この冬中、2分咲き程度で花のたえることの無かった「ジュウガツザクラ」が春の開花をはじめました。一方、冬の間は花が途絶えていたように見えた、「コブクザクラ」も最近は花数を増やして来ています。こちらは開花とは言えませんが最近の写真を添付しておきます。



3-5. ソメイヨシノの開花?

近くの阪急神戸線沿いに植えられているソメイヨシノ12, 3本の内の1本が昨日(3/10)10輪ほどの花を開きました。また、近くの公園の私の「観察木」でも今日2輪ほど花が見られました。皆さまの近くでは如何でしょう? 何だか今年は異常ですね。

❀昨年同様、切り枝を使って「休眠打破」など調べています。面白い結果など出て来ているのですが紙面の都合上、次報にまとめます。

以上

